

平成23年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年4月26日

I. 概況

1. 売上高総額	1,031億円余
2. 前年同月比	-21.5% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-26.4%(82.3%) : 非店頭14.0%(17.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 28店 (平成23年2月対比+2店)
5. 総店舗面積	937,107㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	20,369人 (前年同月比:-1.4%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 -1.3%、9-11月 -0.2%、10-12月 0.8%、 11-1月 0.4%、12-2月 0.8%、1-3月 -6.6%

[参考] 平成22年3月の売上高増減率は-5.1% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

- (1) 震災後の計画停電の影響で、都内各店共に営業時間の短縮あるいは臨時休業などを余儀なくされた結果、入店客数は売上同様に前年比で2~3割減少している。
- (2) 震災による消費マインドの冷え込みから、3月上旬まで復調傾向にあった主力の衣料品や服飾雑貨などファッション商材全般で苦戦した。
- (3) 防災意識の高まりや消費者の買いため心理を背景に、水、米、乾物・レトルト、瓶・缶詰などの保存食品、並びにリュック、懐中電灯、使い捨て肌着などの防災用品が大きく動き、一部店舗では需要を賄いきれずに在庫切れとなるケースもあった。
- (4) 特徴的な好調商材としてウォーキングシューズとスーツケースが報告されている。今回の震災を切っ掛けに、緊急時の動きやすさを求めた消費行動と考えられる。
- (5) 都内各店の4月中旬までの売上動向は、概ね前年実績を若干下回る水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比-1.2日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した:1店、②変化なし:0店、③減少した:18店、④不明:2店
- (3) 3月歳時記 (ひな祭り、彼岸、ホワイトデー、卒業・入学、新社会人) の売上 (同上)
①増加した:0店、②変化なし:1店、③減少した:8店、④不明:12店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する:4店、②変化なし:1店、③減少する:13店、④不明:3店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年03月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	103,130,611	100.0	-21.5 (-21.8)
紳士服・洋品	6,682,959	6.5	-27.9 (-28.0)
婦人服・洋品	18,535,354	18.0	-34.4 (-35.6)
子供服・洋品	4,584,082	4.4	-12.9
その他衣料品	2,784,240	2.7	-5.4
衣 料 品	32,586,635	31.6	-28.8 (-29.6)
身のまわり品	12,375,803	12.0	-29.3 (-30.2)
化粧品	5,710,057	5.5	-17.6 (-19.7)
美術・宝飾・貴金属	4,527,151	4.4	-32.3 (-32.3)
その他雑貨	6,426,426	6.2	-13.1 (-13.2)
雑 貨	16,663,634	16.2	-20.7 (-21.4)
家具	2,938,871	2.8	26.6 (26.3)
家電	856,579	0.8	21.0
その他家庭用品	4,041,065	3.9	-19.1 (-19.1)
家 庭 用 品	7,836,515	7.6	-2.4 (-2.4)
生鮮食品	4,260,192	4.1	-11.3 (-8.4)
菓子	7,812,492	7.6	-22.1 (-21.3)
惣菜	5,378,080	5.2	-16.5 (-15.0)
その他食料品	8,255,536	8.0	-6.4 (-5.6)
食 料 品	25,706,300	24.9	-14.6 (-13.3)
食堂 喫茶	2,172,305	2.1	-35.8 (-36.2)
サ ー ビ ス	2,148,102	2.1	1.6 (-2.0)
そ の 他	3,641,317	3.5	7.2 (7.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商品券	8,002,747 千円	11.8 (11.4)
従業員数	20,369 人	-1.4
店舗面積	937,107 m ²	0.3

営業日数	29.8 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、昨年8月以来7か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目では、家具が2か月連続、家電が3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-21.5	—	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-27.9	-2.0	6か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-34.4	-7.4	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-12.9	-0.5	3か月連続マイナス
その他衣料品	-5.4	-0.1	35か月連続マイナス
衣料品	-28.8	-10.1	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-29.3	-3.9	4か月ぶりマイナス
化粧品	-17.6	-0.9	3か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-32.3	-1.7	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-13.1	-0.7	34か月連続マイナス*
雑貨	-20.7	-3.3	3か月ぶりマイナス
家具	26.6	0.5	2か月連続プラス
家電	21.0	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-19.1	-0.7	9か月ぶりマイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	7か月ぶりマイナス
生鮮食品	-11.3	-0.4	4か月連続マイナス*
菓子	-22.1	-1.7	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-16.5	-0.8	5か月連続マイナス*
その他食料品	-6.4	-0.4	2か月連続マイナス*
食料品	-14.6	-3.3	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-35.8	-0.9	5か月連続マイナス
サービス	1.6	0.0	12か月連続プラス
その他	7.2	0.2	12か月連続プラス
商品券	11.8	0.6	20か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>